

<発言者>

<項目・内容>

委員長

1 委員長挨拶

「9月1日は関東大震災が起きてからちょうど100年となり、各地で様々な防災訓練が実施されているニュースを見た。私に関わっている日本赤十字社の機関誌にも当時の様子が掲載されていた。その日のうちに、日本赤十字社が皇居前に100坪くらいの救援テントを設置して、30万人くらいの人が助けを求めて来たという情報が載っていた。今と状況は違うが、現在でも災害はいつ起きるかわからないことに変わりはない。『まもるいのち ひろめるぼうさい』という冊子があり、いろいろなシミュレーションしながら防災の勉強をしており、命を守るマークというものがいろいろあることも知った。防災の知識は自身を守るものである。警察や消防等と連携して防災教室をすることも必要であると感じた。」旨の発言があった。

警察本部

2 報告

(1) 苦情の取扱状況（令和5年8月）

苦情の取扱状況（令和5年8月）について報告があった。

警察本部

(2) 関係機関と連携した特殊詐欺被害防止対策～優良防犯電話の購入補助事業～

「高齢者の特殊詐欺被害防止対策の一環として、島根県防犯連合会、各地区防犯協会及び島根県警察が連携し、65歳以上の高齢者を対象に、『通話を自動録音する』、『自動録音することを相手に警告する』、『迷惑電話を自動判別し呼出音を鳴らさず自動で着信拒否する』等の機能がある優良防犯電話の購入費を補助する。令和5年9月1日から順次開始している。なお、江津市防犯自治会は8月1日から先行実施している。補助要件は、対象電話機が、公益財団法人全国防犯協会連合会が推奨する優良防犯電話であること、補助対象は、満65歳以上の者又はその者と同居する者であり、別居家族等による代理申請も可能である。補助金額は、購入金額の2分の1であるが、上限は5,000円とする。また、8月28日、事業開始に先立ち、警察本部において報道機関向けの事業概要及び電話機能に関する説明会を開催した。各警察署においても、各地区防犯協会と連携して事業の周知及び申請受付等を実施する。今後の予定は、県下全体で450台分の補助を目標に普及を促進する。」旨の報告があった。

委員

[意見]「大変良い取組で心強く思う。詐欺電話は携帯電話にもかか

ってくるのか。」

警察本部 [説明]「以前はメール、ここ3年位は固定電話が多かったが、今年の特徴として、携帯電話が増えている。」

委員 [意見]「このような形でメーカーの協力を得ながらの取組は高齢者も安心すると思うので、しっかりと啓発してほしい。」

委員 [意見]「いろいろな対策により効果が上がっている。引き続きお願いする。」

### 3 連絡事項

#### 警察学校における給食の停止

警察本部 「既に新聞等で報道されているが、警察学校の給食の委託事業が停止している。対応としては、弁当業者に依頼し、配達をしてもらっている。食事は提供できているので、学校運営には支障はないが、今後、給食の提供が行われるように警察本部と連携を取って調整を行っていく。」旨の報告があった。

委員 [意見]「新聞を読んで驚いた。食べることは重要なことなので、早く提供されると良いと思う。」

委員 [意見]「早く元に戻り、温かい食事の提供がされると良いと思う。」

### 4 本部長総括

本部長 「特殊詐欺被害については、昨年同期と比較すると件数、金額ともに大きく上回っており、非常に深刻な状況である。本部でも警察署でも関係部署はあの手この手で知恵を出して県民がだまされないように注意喚起して警戒心を高めてもらっているところであるが、委員におかれても何かお気付きの点があればアドバイスいただきたい。」旨の発言があった。